（様式2）

令和7年度　施設指定管理者
モニタリングレポート（年次評価報告書）

施　設　名	**コスモス児童館**
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日　（2期1年目）
所　管　課	子育て支援課

1　業務履行の確認・評価

	年次評価
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	A

【施設の運営に関する基本的事項】
配置基準を満たす人員体制を維持し、緊急時対応訓練や事故対応マニュアルを整備するなど、運営に努めている。法人本部の支援も活用し、職員間の連携も図り、利用者の体調不良にも的確に対応している。

【自主事業に関する事項】
子ども主体の行事や小中学生が共に活動できる機会、父親も参加しやすい事業等を計画的に実施している。中高生利用促進にも取り組み、各事業を着実かつ適切に実施している。

【施設の維持管理業務に関する事項】
館内の安全点検や衛生管理を適切に行い、設備や備品を適切に管理し、施設環境を良好に維持している。

2　サービスの質に関する評価

	年次評価
提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	A

【利用者アンケート（満足度調査）に関する事項】
＜調査の概要＞
・令和8年2～3月に利用者アンケートを実施。
＜調査結果の概要＞
多くの利用者が児童館の職員と気さくに話ができ、困った際の相談もしやすいと感じている。特に幼児親子の回答では、職員対応や雰囲気が好ましいとの評価が多数を占め、子どもがのびのびと過ごせる環境であることも高く評価されている。一方で、おもちゃや設備の老朽化の指摘や、幼児親子にとって小学生の長期休暇中に利用しづらさを感じるといった声も一部に存在する。

【自主事業に関する事項】
子ども主体のクリスマス会や職員の発想を活かした行事、小中学生が共に活動できる機会、父親も参加しやすい事業等を展開している。大学教員との勉強会で得た知見も活用し、利用者のニーズを踏まえた内容の充実が図られている。

【サービス水準や利用環境に関する事項】
利用者の要望を踏まえ、幼児親子専用の部屋を設けるなど、利用環境の改善に取り組んでいる。育児相談や外国籍利用者への支援にも丁寧に対応するとともに、性暴力防止に向けた研修や情報共有も行い、安全・安心な利用環境の確保が図られている。

3　サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価 A

【施設の収支状況に関する事項】
・指定管理料（令和7年度決算額18,782,000円）の中で、事業収支は黒字になっており、継続的にサービスを提供できている。

【団体の経営状況に関する事項】
（株）ポピンズエデュケアの経営状況の分析

・第39期（2025年1月1日～2025年12月31日）の損益計算書では、売上高は前期より増加している。

・営業利益は前期より減少しているものの、当期純利益金額は前期と比して回復されてきたといえる。

・貸借対照表の純資産合計からも、財務内容は健全であるといえる。

総合評価	A	【審査委員会コメント】 館長の調整力や法人本部の支援体制により安定した人員配置を確保し、中高生への活動場所の提供を通じて中高生の利用を増加させた点は評価できる。また、年齢別のゾーニングや幼児親子専用スペースの設置、防寒対策など、利用者の状況に応じた環境改善も進めている。さらに、育児相談や外国籍利用者への丁寧な支援、子どもへの性暴力防止に向けた研修等を実施するとともに、子どもの意見を取り入れたイベントを実施するなど、利用者の声を踏まえた工夫もみられる。大学教員との勉強会や職員間の情報共有を通じて継続的な改善を図り、多様な利用者が安心して過ごせる環境と、質の高いサービスの提供につなげていると評価できる。一方、利用者アンケートでは、玩具や設備の老朽化を指摘する声もあり、玩具については在庫をいくつかのグループに分けて利用に供することで老朽化を防ぐとともに、子どもを飽きさせない工夫もなされている。これまで利用者の声を踏まえた環境改善や質の高いサービスの提供に取り組んできたことから、こうした利用者の声にも寄り添い、今後さらなる取組が進められることを期待する。

【年次評価】　　（評価基準）
- S（優　良）：区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良　好）：区分評価が全てA以上。
- B（課題あり）：区分評価にBがあった。
- C（要改善）：区分評価にCがあった。

【総合評価】　　（評価基準）
- S（優　良）：市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A（良　好）：市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B（課題あり）：サービスの内容の一部に課題がある。
- C（要改善）：サービスの内容に改善が必要である。